## RMarkdown で『心理学研究』の 論文は書けるのか?

Can we write a paper of the Japanses Journal of psychology with RMarkdown?

## Abstract

Can we write a paper of the Japanses Journal of psychology with RMarkdown? To solve this mystery we headed deep into the Amazon. At the end of our long journey we found some great documents about RMarkdown and finally said, "Yes, we can". ... Well, we'll write a abstract like this.

**Key words**: RMarkdown, Reproducibility, The Japanese Journal of Psychology

はじめに、ここから文章を書き始めます。以降が論文の 本文になります。どんどん書いていきましょう!

## 心理学における再現可能性

心理学の再現可能性はとってもまずい状況なのですが、 それはちょっとおいておいて、文献の引用の仕方を説明します。まず、@Kunisato2012 のように、すると、bib ファイル内の Kunisato の 2012 年の論文が引用されます。そして、次のように、[] でくくると文末の引用スタイルになります [@kunisato2019]。また、文末に複数引用する場合は、こういう感じにします [@kunisato2019; @Machino2014]。 以下に詳しく書いているのでご確認ください。

心理学の再現可能性はとってもまずい状況なのですが、 それはちょっとおいておいて、文献の引用の仕方を説明します。まず、@Kunisato2012 のように、すると、bib ファイル内の Kunisato の 2012 年の論文が引用されます。そして、次のように、[] でくくると文末の引用スタイルになります [@kunisato2019]。また、文末に複数引用する場合は、こういう感じにします [@kunisato2019; @Machino2014]。 以下に詳しく書いているのでご確認ください。

そしてまさかの @Lewin からの @ekman1969 ですよ。[@ 坂野雄二 1994; @lerner2015handbook]

## 引用文献

Kunisato, Yoshihiko, Okamoto, Y., Ueda, K., Onoda, K., Okada, G., Yoshimura, S.... Samejima, Kusuo (2012). Effects of depression on reward-based decision making and variability of action in probabilistic learning, Journal of behavior therapy and experimental psychiatry, 43(4),

1088-1094.

Machino, A., Kunisato, Y., Matsumoto, T., Yoshimura, S., Ueda, K., Yamawaki, Y.... Yamawaki, S. (2014). Possible involvement of rumination in gray matter abnormalities in persistent symptoms of major depression: an exploratory magnetic resonance imaging voxel-based morphometry study, Journal of affective disorders, 168, 229–235.

国里愛彦・片平健太郎・沖村宰・山下祐一 (2019). うつに 対する計算論的アプローチ:—強化学習モデルの観点から 一心理学評論, 62(1), 88-103.

Lewin,K. (1951). Field theory in social science: Selected theoretical papers, New York: Harper & Brothers (レヴィン・K 猪俣佐登留(訳)(1951). 社会科学における場の理論誠信書房)

Ekman, P. & Friesen, W.V. (1969). The repertoire of nonverbal behavior: Categories, origins, usage, and coding, Semiotica, 1, 49–98.

坂野雄二・福井知美・熊野宏昭・堀江はるみ・川原健資・山本晴義…末松弘行 (1994). 新しい気分調査票の開発と その信頼性・妥当性の検討心身医学, 34(8), 629-636.

Lerner, R.M., Liben, S.L. & Mueller, U. (2015). Handbook of child psychology and developmental science, cognitive processes, NA: John Wiley & Sons